



しおかぜ

うしおだしょうがっこう しゅうねん っ
潮田小学校 150周年「継ぐ」から「つなぐ」

じどうかい
児童会スローガン「ワールド フラワー ガーデン」



よこはましりつうしおだしょうがっこう
横浜市立潮田小学校
2023年8月31日



なつまつ 夏祭り

こうちやう こいずみ ひろし
校長 小泉 博史

ことし なつ かくちやうないかい まつ おこな
今年の夏は、各町内会でお祭りが行われました。お祭りの様子は町内会ごとに違いましたが、どの町内会も
おほ ひと おとす たいへん ち あ がってました。「かき氷」「焼きそば」「飲み物」「おもちゃ」などたくさんのお
みせ で 出てにぎわってました。多くの子どもたちにも出会いました。「あ、校長先生だ!」と声をかけてくれる
こ どもたちもたくさんいました。参加している人たちは、みんな笑顔で過ごしているのが印象的でした。6月の
れいだいさい とき からそうですが、うしおだ ちいき つうじやう ちど
例大祭の時からそうですが、潮田の地域の通常が戻ってきた
ことは大変喜ばしいことだと思っています。

れいだいさい なつまつ
例大祭と夏祭り、もちろん祭の意味合いは違いますが、地域のひとと人
とのつながりをより豊かにするという意味で大事な行事ではないでしょう
か。特に夏祭りでは、町内会、自治会、子ども会の人たちが祭自体の
きかくうんえい ちいき ひと たが かが あ ながら楽しみ、しんぼく
企画運営をし、地域の人たちがお互いに関わり合いながら楽しみ、親睦
を深めることができます。子どもたちが店番をして運営側の役目を果たす場合もあります。このように地域の
ぎやうじ かつせい ちいき ひと ひと きずな ちか こと
行事が活性化することは、地域のひととひととの絆を深める事にもつながります。



ことしなつまつ きんか ほんこう こ とも ひと だいじ りゆう
今年夏祭りに参加して、本校の子どもたちが友だちや人を大事にしている理由が分かったような気がします。
それは子どもを育てる土壌がこの地域にあるからなのだと。今までも「学校、家庭、地域で協力しながら子
どもを育てていきましょう。」という話をしてきましたが、まさに地域で子どもを育てている一端を見せていた
いただきました。



がくえんたい みなさま ひび こ どもたちの とうげこう みまち
学援隊の皆様にも白々、子どもたちの登下校を見守っていただき、たくさ
んお声かけして 頂 いています。地域行事の時だけでなく多くの大人の方々
が子どもたちをいつも見守ってくださるこのすばらしい地域を、子どもたち
自身も大事にできるようにしていきたいとおもいます。そして将来、潮田のま
ちや人をよりよくしようという大人に育てられるようにかかわっていき
たいとおもいます。